

市民の皆さん 梅雨の季節です

大雨・長雨にご注意

大雨や長雨などによる洪水や、土石流・がけ崩れ等の自然災害が発生しやすい季節です。これらの災害は、予測のつかない地震と違い、テレビ・ラジオから得られる気象情報の活用や、早めの避難等により被害を最小限にすることができます。

日常の心がけ

- ▼気象情報に気をつける
- ▼非常食や必需品の準備
- ▼避難場所の確認
- ▼近隣交流

避難時の必需品

- ▼携帯ラジオ
- ▼懐中電灯・水
- ▼非常食・常備菜など



気象台から発表される気象情報

徳島地方気象台から発表される気象注意報・警報等は、地域住民に注意を呼びかけ、災害時の被害を最小限にすることを目的に発表していますので、住民の皆さんは情報収集を心掛けましょう。

【大雨洪水対策】

平成16年には台風等で市内各地に大きな被害がもたらされました。大雨情報の事前収集に努め、早めに家財道具や食料品等を高い所へ移動しましょう。また、浸水を防止するため、事前に土のうを準備することも必要です。（土のうは、ホームセンター、建材店等で販売しています。）最大降雨時期が夜間に予想される場合は、早めに避難準備を済ませておきましょう。特に、高齢者や身体の不自由な方は、明らかなる避難を心掛けてください。

▼やむを得ず冠水した道路を避難する場合
濁流は足元を見えにくくします。

【土砂災害対策】

大雨警報発表後、今後の降雨予測に基づいて「土砂災害警戒情報」が発表されます。山（がけ）崩れに伴う危険箇所または土石流に伴う危険箇所の近くに居住されている方は、自主的な避難を開始しましょう。（市は、土砂災害警戒情報等の情報を参考に「避難勧告等」を発令します。）

また、土砂災害警戒情報の発表がなくても、場所によっては、局地的な異常現象も考えられます。普段と違う状況に気付いたら、周りの住民に声を掛け、安全な場所に避難してください。（後で市に連絡してください。）

●土石流とは

谷や斜面に貯まった土・石・砂などが、梅雨や大雨により水といっしょになって、一気に流れ出してくるのが「土石流」です。破壊力が大きく、また速度も速いので大きな被害をもたらします。



●地すべりとは

比較的緩やかな斜面において、地中の粘土層など滑りやすい面が、地下水の影響などでゆっくりと動き出す現象です。一度に広い範囲が動くため、ひとたび発生すると住宅、道路、鉄道、耕地などに大きな被害をおよぼしたり、川をせき止めて洪水等を引き起こすことがあります。



●山（がけ）崩れとは

地盤にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちるのが「がけ崩れ」です。突発的に起こり瞬時に崩れ落ちるので、逃げ遅れる人も多く、死者割合も高くなります。



大雨警報解除後も土砂災害の可能性はありますので、避難場所から帰宅する場合は、事前に市の了解を得てください。

土砂災害に伴う危険箇所は、「小松島市洪水ハザードマップ（洪水・土砂災害）」や「土砂災害ハザードマップ」で確認してください。ハザードマップは、小松島市ホームページにて公開しています。

不明な点は、市防災監理課（☎32・2227）にお問い合わせください。